

平成 27 年 (2015 年) 6 月 19 日  
 総務部 行政改革課  
 (課長) 井出 英治  
 (担当) 青木 能健 桐山 准 上田 岳義  
 電話 : 026-235-7029 (直通)  
 026-232-0111 (代表) 内線 2558  
 FAX : 026-235-7030  
 E-mail gyokaku@pref.nagano.lg.jp



しあわせ信州

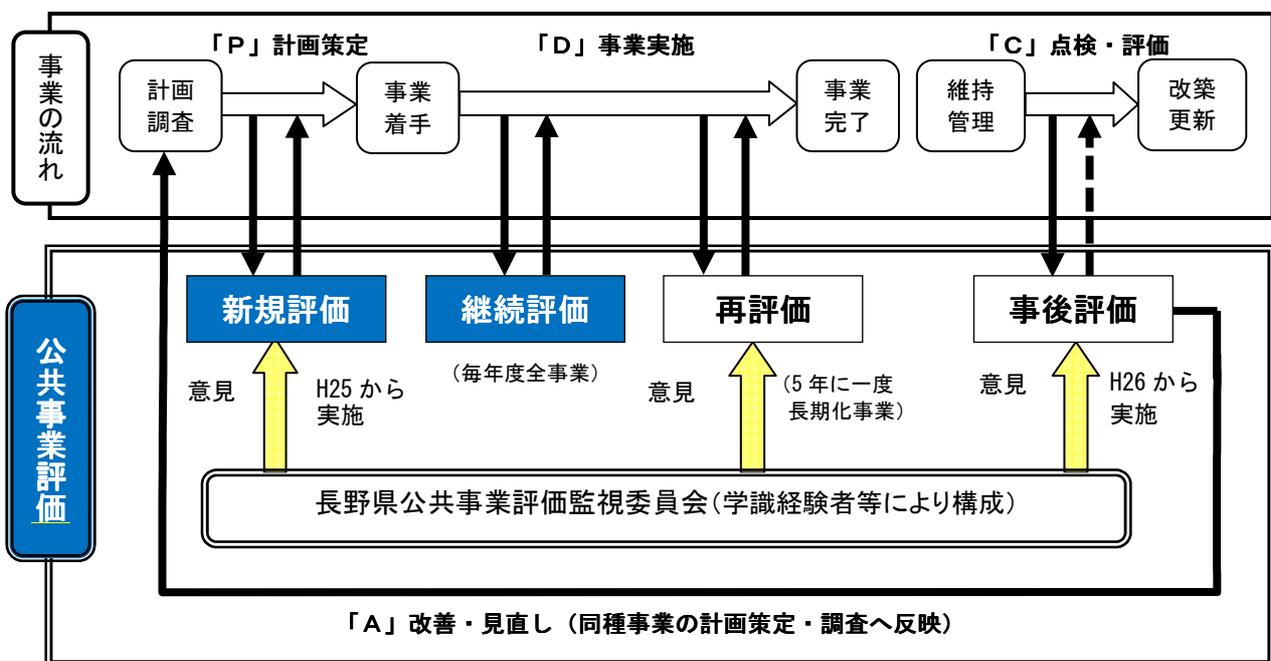
長野県(総務部)プレスリリース 平成 27 年(2015 年)6 月 19 日

## 平成27年度実施予定箇所等の公共事業評価結果(新規・継続)について

長野県では、公共事業の一層の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を向上させるために、平成 15 年度から公共事業評価を実施しています。

評価結果は、個別箇所の採択の決定や取組方針の検討等に活用されています。

今回、国庫補助事業の採択の状況がまとまりましたので、平成 27 年度実施予定箇所の評価結果(平成 26 年度に評価を実施)を公表します。



区分	新規評価	継続評価
評価対象	災害復旧、維持管理、調査等を除くすべての公共事業	
評価方法	必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度を点数化し、その合計による評価	翌年度以降に事業を継続する箇所について、事業の進捗状況等の確認を毎年度行う
評価の活用	国庫補助事業の採択申請や県単独事業の採択の決定に活用	取組方針 (継続、休止、中止)の決定に活用

# 1 新規箇所評価の結果（156箇所）（①+②）

## ① 国庫補助事業

141箇所を評価し、A評価は75箇所、B評価は66箇所となりました。

評価結果、予算状況、地域との調整状況等を考慮し、国へ109箇所申請し、109箇所が採択となりました。

[100点満点 A:75点以上 B:74~50 C:49点以下] (単位:箇所)

分野	事業名	担当部	評価対象	評価			国へ申請	国の採択
				A	B	C		
地すべり対策	地すべり対策	農政	3	3			3	3
	地すべり防止	林務	1		1		1	1
	地すべり対策	建設	9	7	2		9	9
	急傾斜地崩壊対策等		13	6	7		13	13
ため池の整備等	県営農村地域防災減災	農政	6	5	1		6	6
治山・砂防	山地治山	林務	14	7	7		13	13
	水源地域等保安林整備		5	4	1		5	5
	砂防	建設	13	9	4		12	12
主要な道路の整備	道路改築	建設	36	13	23		6	6
補完的な道路の整備	街路		2	2			2	2
	県代行		2		2		2	2
道路付帯施設の整備	雪寒対策道路		3	1	2		3	3
	無電柱化推進		1		1		1	1
	交通安全施設等整備		24	10	14		24	24
農業基盤整備	県営かんがい排水		農政	1	1			1
	県営畑地帯総合土地改良	3		2	1		3	3
	県営農道整備	2		2			2	2
	県営中山間総合整備	3		3			3	3
合計			141	75	66		109	109
(参考)H26			134	65	69		102	102

## ② 県単独事業

15箇所を評価し、A評価は1箇所、B評価は14箇所となりました。評価結果を踏まえて、15箇所を採択しました。

[100点満点 A:75点以上 B:74~50 C:49点以下] (単位:箇所)

分野	事業名	担当部	評価対象	評価			採択
				A	B	C	
主要な道路の整備	県単道路改築	建設	9	1	8		9
補完的な道路の整備	県単街路		1		1		1
道路付帯施設の整備	県単交通安全施設等整備		5		5		5
合計			15	1	14		15
(参考)H26			35	11	24		35

③ 代表的な箇所の評価例

(第三者評価の抽出審議箇所)

事業名 箇所名 地区名	県営中山間総合整備 生坂村 いくさか	水源地域等保安林整備 根羽村 外山	街路 (都)飯田中津川線 飯田市 知久町
概 要	<p>主要工種</p> <p>用排水路 L=9,425m 農道 L=1,920m ほ場整備 A=11.8ha 等</p> <p>事業目的</p> <p>ほ場整備等を行い、担い手農家や新規就農者への農地集積を促進し、特産の山清路巨峰栽培をはじめとした特色ある地域農業の発展を図る。</p> <p>ほ場整備等を実施し効率化を図る</p>  <p>新規就農者の育成</p> 	<p>主要工種</p> <p>谷止工 7 個 森林整備 150ha</p> <p>事業目的</p> <p>大雪等により被害を受け荒廃地となっている水源域に対し、溪流に谷止工、荒廃森林には森林整備を実施し、早期に機能回復を図る。</p> <p>倒木により溪流が荒廃</p>  <p>溪流内の不安定土塊</p> 	<p>主要工種</p> <p>道路拡幅 L=440m W=6.0(16.0)m (現道 W=4.0m)</p> <p>事業目的</p> <p>市街地の道路拡幅と電線類を地中に埋設した歩道の整備により、円滑な交通の確保と安全で快適な都市空間の創造を図る。</p> <p>幅員が狭く通行に支障</p>  <p>歩道がなく歩行者が危険</p> 
	県評価	A評価	A評価
第三者評価	農業生産基盤と農村生活環境を一体的に整備し、併せてソフト対策と連携して農業・農村の活性化を図る計画であるため、県の自己評価は妥当と判断する。	大雪による被害で、今後下流に被害を及ぼす危険性があるため、被害木の流出防止や健全な森林への復旧を行う必要があるため、県の自己評価は妥当と判断する。	周辺で宅地化が進み、また沿道に病院・小学校があるために歩行者等が多く、安全確保が急務となっているため、県の自己判断は妥当と判断する。

### ① 国庫補助事業

平成27年度以降に実施予定の561箇所について評価を行いました。事業完成間近のものについては、早期完成を目指し効果の早期発現を図り、残事業の多いものについてはその必要性を検討するなど、今後の取組みの検討に活用しました。平成27年度は、継続が547箇所となり、用地取得の難航や関係機関との協議に時間を要することなどのため、休止が14箇所箇所となりました。

(単位:箇所)

部	評価対象	取組方針		
		継続	休止	中止
農政部	89	89	0	0
林務部	118	118	0	0
建設部	354	340	14	0
<b>計</b>	<b>561</b>	<b>547</b>	<b>14</b>	<b>0</b>
(参考)H26	510	498	12	0

### ② 県単独事業

平成27年度以降に実施予定の210箇所について評価し、継続が210箇所となりました。

(単位:箇所)

部	評価対象	取組方針		
		継続	休止	中止
建設部	208	208	0	0
企業局	2	2	0	0
<b>計</b>	<b>210</b>	<b>210</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(参考)H26	177	177	0	0

※「休止」: 現行計画による事業継続を前提とするが、当該年度の事業実施が困難なもの。

「中止」: 現行計画による事業継続が困難なため、整備を中断するもの。

### ③ 代表的な箇所

経営体育成基盤整備事業  
安曇野市 烏川地区  
ほ場整備工 A=161ha ほか

ほ場の区画形状や用排水施設等の整備を行い、農業経営の安定を図っています。

治山事業  
伊那市 諏訪形  
谷止工 1基ほか

山地災害から県民の安心・安全な生活を守るため、荒廃した溪流内で対策を行っています。

整備総合交付金事業  
国)152号 小道木バイパス  
事 L=1.7Km W=6.5(8.0)m

線形不良区間の解消を図る  
パス工事を行っています。



担い手農家への面的集積を図る

